

北海道新幹線の建設促進について

北海道部会提出

北海道新幹線は、我が国の高速交通体系の骨格を形成する上で極めて重要な国家的プロジェクトであり、国全体の経済の発展及び生活領域の拡大並びに北海道の振興に欠かすことのできない社会資本である。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で乗車率が低下している状況ではあるが、「新青森－新函館北斗間」の開業から6年が経過する中、北関東、首都圏との文化・経済交流の促進や新産業の創出等、北海道の様々な産業分野への波及効果をもたらし、北海道の活性化に極めて大きな役割を果たすものとして今後ますます期待される。

すでに全線開業している他の整備新幹線は、関係する地域の経済発展に大きく貢献していることから、北海道新幹線についても、札幌までの全線開業により、その効果が最大限に発揮され、北日本ひいては日本全体の発展にも大きく寄与するものと確信している。

「新函館北斗－札幌間」の工事については、2030年度末の開業に向けて進められているが、北海道新幹線の効果最大化に向け、今後、さらに工期を短縮し、開業時期を前倒しすることが待ち望まれている。

については、北海道新幹線の建設促進に向けて、次の事項を強く要望する。

記

1. 新青森－新函館北斗間の安全運行の確保と札幌までの早期完成を図ること。
2. 貸付料など幅広い観点からの更なる建設財源の確保や、財源措置の拡充による地方負担の軽減を図ること。
3. 青函共用走行区間において、さらなる新幹線高速走行の早期実現を図ること。
4. 新幹線の開業効果を高めるため、新駅周辺地域や広域幹線道路などの整備に対する社会資本整備総合交付金等の重点的な配分を行うこと。